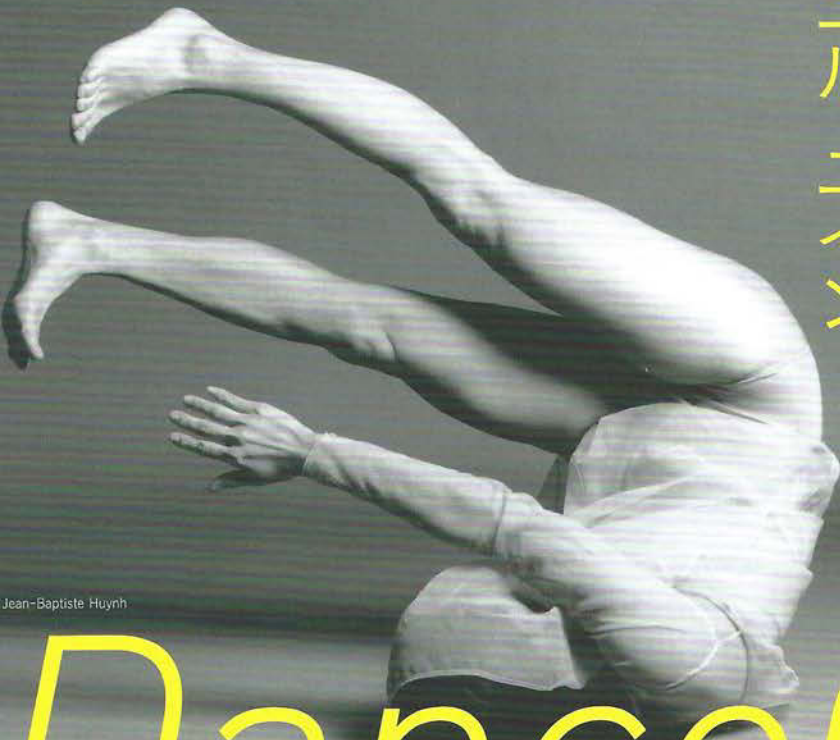


90
1924・2014

90° ANNIVERSAIRE
DU PARTENARIAT CULTUREL
FRANCO-JAPONAIS
日仏文化協力90周年

横濱
FRANCE
フランス
& YOKOHAMA
月間

「Múa」
Immanuelle Huynh
エマニユエル・ユイン



Jean-Baptiste Huynh



DanceCross

ダンスクロス

2014年7月6日(日) 16:30開演 (16:00開場) Le 6 Juillet 2014 à 16:30

※演出の都合により、最初の演目「Múa」は開演時間を過ぎてからのご入場はできません。お時間に余裕をもってお越しください。

横浜赤レンガ倉庫1号館 3Fホール Yokohama Red Brick Warehouse Number 1



奥野美和

Miwa Okuno

「PHANTOMS in MANUFACTURE」

主催：横浜赤レンガ倉庫1号館 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]、アンスティチュ・フランセ横浜
助成：アンスティチュ・フランセ パリ本部
協賛：キリンビールマーケティング株式会社横浜支社、株式会社 ル・ブルターニュ、ブジョー

Jesús Robisco



エマニュエル・ユイン 『Múa』

奥野美和 『PHANTOMS in MANUFACTURE』

ダンスにおけるフランスと日本の交流を行う「ダンスクロス」。いまやフランスコンテンポラリーダンスの「古典」となった、エマニュエル・ユインの処女振付作品『Múa』。暗闇の中でダンサーの存在感がゆっくりと浮かび上がる。

そして横浜ダンスコレクションEX2013において、映像、ダンス、サウンドを組み合わせた作品で観客を魅了した奥野美和の、6ヶ月のレジデンスの成果ともいえる新作『PHANTOMS in MANUFACTURE』。フランスの街角で奥野が出会った目に見えない存在(ファントム)たちを呼び起こす。

『Múa』(30分)

構成・静止の形式・出演:エマニュエル・ユイン
 間:イヴ・ゴダン
 沈黙:カスパー・トブリッツ
 透明性:クリスチャン・リゾ
 チェロ:ファブリス・ピアン
 照明:オーギュスタン・ソルデュボフ

『PHANTOMS in MANUFACTURE』(35分)

構成・振付・出演:奥野美和
 音楽:藤代洋平
 衣装協力:垣根千晶

※演出の都合により、最初の演目『Múa』は開演時間を過ぎてからのご入場はできません。お時間に余裕をもってお越しください。
 ※就学前のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。
 ※やむを得ぬ事情により、出演者や演目が変更となる場合がございます。

Emmanuelle HUYNH

Miwa OKUNO



エマニュエル・ユイン

フランス・シャトラー生まれ。哲学とダンスを学び、ダンサーとして、ナタリー・コラント、エルヴェ・ローブ、オディール・デュボック、カトリーヌ・コントゥール、le Quatuor Knustの作品に出演する。1994年、フランス政府の奨学金ヴィラ・メディチ「horses-murs(壁の外)」を得てベトナムに滞在、フランス帰国後に最初のダンス作品

『Múa』を制作。その後もダンス作品のみならず、造形アーティストとのコラボレーションや美術館などでのパフォーマンス作品を制作・発表する。

2004年、イスタンブール・ダンスフェスティバルの芸術監督に就任。トルコとフランスのアーティストたちによる共同プロジェクトで、公演や教育プログラム、討論会などを開催する。

2004年～2014年、フランス・アンジェ国立現代振付センター(CNDC)のディレクターを務める。コンテンポラリーダンスに特化した高等教育機関でもある本センターで、若いダンサーや振付家を対象とする研修プログラムを立ち上げ、若いアーティスト支援を積極的に行う。

日本や日本文化への関心も非常に高く、振付家、坂本公成と制作した『Futago』(2008年)や、生け花師範、奥平清鳳との共同創作パフォーマンス『心奪(しんばい)一魂の略奪、あるいは飛翔-』(2009年)、振付家、笠井観とのデュオ『spiel』(2011年)といった作品を制作・発表している。

また2011年、2014年には、横浜ダンスコレクションEXの審査員を務めた。



奥野美和

3歳よりモダンバレエを大川悦子に師事する。

大東文化大学モダンダンス部に籍中にコンテンポラリーダンスに出会い、その間に会ったピナ・バウシュの舞台写真集に心を奪われ卒業と同時にダンサーを決意する。2007年より北村明子率いるLeni-Bassoに参加し国内外で活動後、2009年よりソロ

活動を開始。自身の作品制作、又映像作家や写真家など様々なアーティストとのコラボレーションに力を入れる。近年は自ら実写映像の編集・構成を手掛け、身体・映像・音などを「素材」として扱い「観る人の内蔵に響く作品」をモットーに総合的な空間芸術創りを目指す。

また身体能力向上の為に東洋のヨガやインドネシア武道に興味を持ち自身のトレーニングとして取り入れ、パワーと繊細さを兼ね備えた身体機能を日々模索し続ける。2013年夏より渡仏。リリユー・ラ・バブ国立舞踊センター、モンペリエ・ラングドック・ルシヨン国立舞踊センター、パヴィオン・デ・カスカッド/ヴィバリアウム・スタジオにて研修・制作・発表を行う。2013年横浜ダンスコレクションEXにおいて「若手振付家のための在日フランス大使館賞」、「MASDANZA賞」受賞。2013年インターナショナル・コンテンポラリーダンス・フェスティバルMASDANZAにおいて「審査員賞」受賞。大東文化大学モダンダンス部コーチとして在籍中。



〒231-0001 横浜市中区新港1-1-1

チケット料金 [全席自由] 一般前売 ▶ 2,500円(当日3,000円)

学生/アンスティチュ・フランセ会員前売 ▶ 2,000円(当日2,500円)

チケット取扱い Confetti カンフェティ 0120-240-540 (平日10:00-18:00)

<http://confetti-web.com/>

JCDNダンスリザーブ <http://dance.jcdn.org> (Web予約・当日精算)

横浜赤レンガ倉庫1号館 045-211-1515 (10:00-18:00)

アンスティチュ・フランセ横浜 045-201-1514

お問合せ

横浜赤レンガ倉庫1号館 045-211-1515 www.yokohama-akarenga.jp

アンスティチュ・フランセ横浜 045-201-1514 www.institutfrancais.jp/yokohama

関連イベント ①

奥野美和によるダンスパフォーマンス『Artificial』

第2回「哲学のタベ」～哲学とイメージ～の一環として、『N///K』(ダンス・映像を奥野美和、音楽を藤代洋平が担当。2014年結成)がダンス作品『Artificial』を上演します。

5月31日(土) 19時30分～21時(2回各20分)

(イベント「哲学のタベ」は、14時～23時)

会場:アンスティチュ・フランセ東京

〒162-8415 東京都新宿区市谷船河原町15

入場無料・飲食有料

主催・お問い合わせ:

アンスティチュ・フランセ東京 03-5206-2500

関連イベント ②

エマニュエル・ユインによる子どものためのワークショップ

エマニュエル・ユインの2009年のダンス作品『Cribles』の抜粋を、一緒におどってみましょう。振付の基礎でもある「丸」というシンプルな形をとおして、祝祭、聖なるもの、行列、足踏み、ユニゾン、ズレ、ミュージカルといった、さまざまな要素を再考します。(逐次通訳付き)

7月5日(土) 15時～16時30分

会場:象の鼻テラス 〒231-0002 横浜市中区海岸通1丁目

対象:8歳～12歳 参加料:500円

ご予約・お問い合わせ:

アンスティチュ・フランセ横浜 045-201-1514

主催:アンスティチュ・フランセ横浜 共催:象の鼻テラス

関連イベント ③

エマニュエル・ユインによるレクチャー(逐次通訳付き)

7月7日(月) 18時30分～20時30分

会場:早稲田大学戸山キャンパス(文学部)

33号館16階第10会議室

〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1

参加無料・要事前予約

ご予約・お問い合わせ: theatre.waseda@gmail.com

主催:早稲田大学文学部演劇映像コース